

千葉ロータリークラブ フードロスへの取り組み

— なぜ今、食品の回収事業が必要なのか —

世界の飢餓とフードロス

世界では、1分間に17人が飢えのため命を失っています。
そのうち12人は子どもです。そして8億5千万人が栄養不良や飢餓に苦しんでいます。
日本でも、一日5人、年間で2千人以上が食べ物が無く餓死しています。
一方で、日本国内年間約1,927万トンの食品廃棄物が排出されています。
その中にはまだ十分食べられるにもかかわらず廃棄されている食品
いわゆる「食品ロス」が多く含まれています。食品関連事業者からは約357万トン、
一般家庭からは289万トン、合計すると年間約646万トンもの食べ物がまだ食べられる
にもかかわらず廃棄されています。
これは世界の1億人以上が十分に食べていける量。
そして、世界全体の食料援助量の約2倍に匹敵する量です。
このことは、自分達一人一人が意識を少し変えていくことで大きく変えることが可能です。

「フードバンク」とは、

品質に問題がないのに廃棄せざるをえない食品を、企業・団体・個人から寄付してもらい、必要としている人に無償で届けるボランティア活動です。
余っている食べ物を持っている支援者の方と、食べ物を必要としている受益者の方とをつなぐ役割をはたします。
生活に困窮する方々に無償でお米などの食材を提供するため、広く食材提供を呼びかけています。

**千葉ロータリークラブは、フードドライブで
フードロスと子どもの貧困の解消に取り組んでいます。**

Rotary



国際ロータリー第2790地区
千葉ロータリークラブ
奉仕プロジェクト委員会 職業奉仕委員会

事務局：千葉市千葉市中央区新田町12-1 TEL043(245)3200

<http://chiba-rc.jp>



ロータリークラブとは

私たちロータリークラブは、世界で、地域社会で、そして自分自身の中で、持続可能な良い変化を生むために、人びとが手を取り合って行動する世界を目指しています。

1905年にシカゴで創設されたロータリークラブでは、110年以上さまざまな職業をもつ人や市民のリーダーが「世界を変える行動人」となり、その経験と知識を生かして社会奉仕活動や人道的活動に取り組んできました。

識字率向上、平和構築、水と衛生の改善など、幅広い分野で持続可能な影響をもたらすために、ロータリークラブの会員は毎日、世界のどこかで活動しています。

ロータリークラブの活動

切迫した問題が山積みとなっているこの世界で、私たちは単なる傍観者ではなく、自ら行動する責任があると考えています。

ロータリークラブは以下の分野に重点を置いて活動しています。

◎平和の推進 ◎疾病との闘い ◎水と衛生 ◎母子と健康 ◎教育の支援 ◎地元経済の成長

ロータリークラブの使命

ロータリークラブの使命は、職業人と地域社会のリーダーのネットワークを通じて、人びとに奉仕し、高潔さを奨励し、世界理解、親善、平和を推進することです。

ロータリークラブはここが違う

◎地元密着の活動

人と人とのネットワークを生かして、地域の真のニーズを見極め、課題に取り組んでいます。

◎多角なアプローチ

さまざまな職業やスキルをもつ人たちがアイデアを寄せあい、世界や地域がかかえる問題に対する独自の解決策を見出します。

◎倫理を大切に

責任をもって粘り強く活動し、その場限りではなく、持続可能な成果をもたらすことを目指しています。

◎ローカルとグローバルで変化をまたらす

ロータリークラブは世界のほぼすべての地域に存在し、それぞれが独自の活動を行っています。

多様性、公平さ、開放性

ロータリークラブは、持続可能な変化を生むために人びとが手を取りあって行動する世界を目指すグローバルネットワークとして、多様性を重んじ、年齢、民族、人種、肌の色、能力、宗教、社会的地位、文化、性別、性的指向、性自認にかかわらず、あらゆる背景をもつ人の貢献を称えます。